

2021年1月4日

株式会社九州フィナンシャルグループ

2021年 社長年頭あいさつ

株式会社九州フィナンシャルグループ社長（笠原 慶久）が、2021年の年頭にあたり、下記のとおり全社員へ向けメッセージを送りましたので、お知らせいたします。
なお、本メッセージは動画配信をしており、下記リンクよりご覧いただけます。

記

〔内容〕

はじめに

1. 地銀が生まれ変わる年
2. 自らが輝く年
3. 次期中期経営計画にスピード感を持って取り組む年

結びに

〔動画〕

メッセージ動画はこちらからご覧いただけます。



(外部サイトへリンクします。)

【本件に関するお問い合わせ】

九州フィナンシャルグループ 広報・IR部 小西

TEL : 096-326-5607

株式会社九州フィナンシャルグループ

2021年 社長年頭あいさつ

はじめに

笠原です。九州フィナンシャルグループの皆さん、新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり申し上げたいことを3点述べます。

1. 地銀が生まれ変わる年

まず1つ目は、今年を「地銀が生まれ変わる年」とし、具体的には「独自性の高い九州フィナンシャルグループのビジネスモデルを創り上げる年」にしたいということです。

今なお世界中を席卷する新型コロナウイルスや頻発する大規模災害など、社会的にも、経済的にもインパクトの大きいパラダイムシフトが起きつつある中、金融機関に期待される役割は、金融分野の深掘りのみならず、非金融分野にも拡大しています。

このことは即ち、我々がビジネスを通じて活躍できる範囲が深まり、かつ広がるということであり、我々がどういう分野に取り組むかによって、その地域の未来が変わってくるということです。私はこう思うのです。どんな地銀があるかによって、その地域の未来が変わってくる。そして、今ほど地銀の仕事が面白い時はない、と。今年2021年は、厳しい環境にある地銀界をリードしていくという気概も含めて、「地銀が生まれ変わる年」とし、真に地域に根差した独自性の高いKFGグループのビジネスモデルを創り上げていきましょう。

2. 自らが輝く年

そして2つ目は、今年を「自らが輝く年」にして欲しいということです。

これから、我々が取り組めるビジネスの範囲が広がります。つまり、お客様や地域のお役に立てる手段や機会が広がるとともに、皆さんが活躍するフィールドも広がっていきます。未来を見据えた施策を考え、結実させることができれば、自らの「やりがい」や「充実感」に繋がるとともに、仕事が楽しくなり、自然と輝くことができると考えています。

私は、KFGグループの皆さんが輝くためには、これまで繰り返し説明してきた4つの行動指針が非常に重要だと考えています。改めて4項目をおさらいします。

- 1つ、「自ら考え、行動してほしい」
- 2つ、「未来、即ち次世代に向かって考えてほしい」
- 3つ、「九州フィナンシャルグループのフィールドで考えてほしい」
- 4つ、「多様性を尊重してほしい」

是非、KFGグループの未来のために自ら主体的に取組み、具体的な施策を結実させることで、「自らが輝く年」になって欲しいと思います。

3. 次期中期経営計画にスピード感を持って取組む年

3つ目は、「次期中期経営計画にスピード感を持って取組む年」にしたいということです。

これまで、皆さんを軸に子銀行とも議論を重ねながら、全員の手垢のついた、グループで働く全員の総意としての中期経営計画にしたいという想いに拘ってきました。

次期中期経営計画の骨格が固まりつつあるなか、これからは、更なる施策の具体化に向けて、グループ内での合意形成も含め、より密な連携が必要となっていきます。いつまでに、誰が、どのように、などといった具体論でしっかりと議論し、ここを曖昧な状態にしないことが、次期中期経営計画のスタートダッシュに繋がると考えています。

ご承知の通り、日本銀行の「地域金融強化のための特別当座預金制度」、いわゆる特別付利制度が導入されます。これは、2019年度実績をベースに、2022年度までに一定の要件を満たしたかどうかで日本銀行当座預金のうち所要準備額を除く残高に+0.1%の付利を行う制度です。次期中期経営計画は3年ですが、この制度の趣旨を踏まえれば、可能な限り前倒しで物事を進めることが重要であり、次期中期経営計画でやるではなく、可能であればすぐに始めるということをお願いします。

結びに

以上、KFGとして、今年は、「地銀が生まれ変わる年」、「自らが輝く年」、「次期中期経営計画にスピード感を持って取組む年」の3つです。

KFGの仕事は簡単ではありません。しかし、未来のKFGのために、皆さんの役割は重要です。本年も、九州フィナンシャルグループという大きなフィールドの中で、グループ一丸となって頑張っていきましょう。

以 上